



# 鉾山町

# 生

～ 物語 色濃く残るこのまちで生きる～

# 野

鉾山町の生野が元気だったあの時代  
思い出せる「記憶」から「歴史」という昔話へ変わるとき  
鉾山町の営みのなかで生まれたこの風景を  
明日へ運ぶために

重要文化的景観

生野鉾山及び鉾山町の文化的景観

ガイドブック

## 国が認めた生野の価値「重要文化的景観」とは何か？

### 「重要文化的景観」とは —

文化的景観とは、地域の生業とその土地の風土、人々の生活によって生み出され、現在まで受け継がれてきたその土地特有の「暮らしを感じる景観」のことを言います。

また、その中でも特に、日本の暮らしを語るために国が重要と認めたものを「重要文化的景観」としています。「文化財」というモノや地域だけでなく、長い年月、地域住民がその土地に住み続け、積み重ねてきた営みや考え方も含めた町そのものの生き方が“景観”としてあらわれ、それを次世代に継承しようとする考え方です。

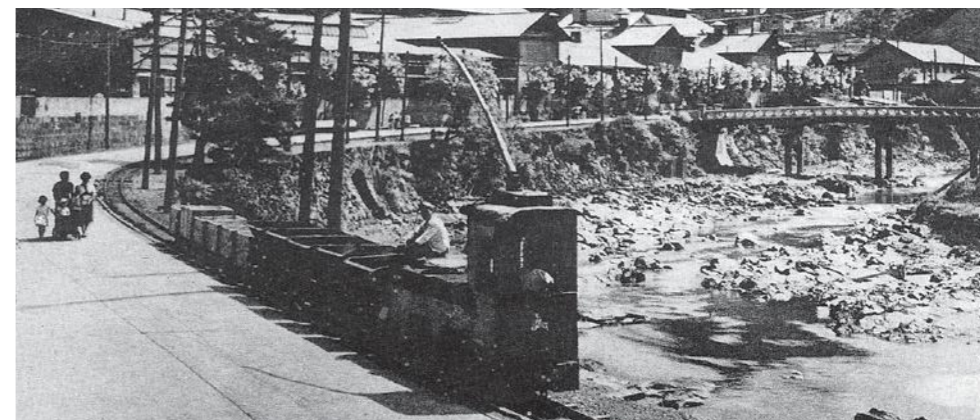
### 生野の価値

生野は、鉱山採掘を生業として発展し、鉱山町独特の文化が育まれました。

生野の文化的景観の価値は、鉱山採掘が終了した現在でもなお、錫精錬などの鉱工業が続けられており、鉱山町としての文化、風習が受け継がれ、地域の人々が鉱山町としての誇り、愛着をもって住み続けていることにあります。

### 記憶、この風景を明日へ運ぶために

昭和48年の閉山から40年以上が経った現在、鉱山が稼働していた頃を知っている人たちが次第に減ってきていますが、鉱山町独特の景観や風習、文化などは現在まで引き継がれています。現在まで住民の努力によって受け継がれてきたそれらを次世代へと継承していくために、今を生きるみなさんが町のことを語り継ぎ、またこの町に住み続けることで「生野」を将来へ伝えていきましょう。



①	⑦
②	③
④	⑤
⑥	⑧
	⑨
	⑩
	⑪

- ① 鉱山本部全景
- ② 金香瀬坑口と鉱夫
- ③ 購買会
- ④ 生野踊り 口説き
- ⑤ 生野踊り(昭和30年代)
- ⑥ 口銀谷空撮
- ⑦ トロッコの走る風景
- ⑧ 鉱夫たち
- ⑨ 生野秋祭り
- ⑩ 戦前期の生野秋祭り
- ⑪ 史跡 生野銀山

鉱山とともに育まれた生野の暮らし 町に残るその景観

「重要文化的景観」選定エリア 文化的景観をとりまく現状と課題とは

選定範囲

選定範囲は、近世の「生野銀山廻り」といわれる区域とほぼ重なっています。

山師や役人、鉱山労働者などの家が現在も残り、生野の玄関口で町の中心地である口銀谷地域。鉱山本部を中心に、現在も鉱業生産が行われている太盛地域。山元の手工業地域として発展し、その町並みがあるまま残っている奥銀谷地域。かつて鉱山採掘の中心地であり、観光地として鉱山の営みを今に伝える金香瀨地域の4つそれぞれ特徴のある地域から成り立っています。

太盛地域 生野鉱山本部



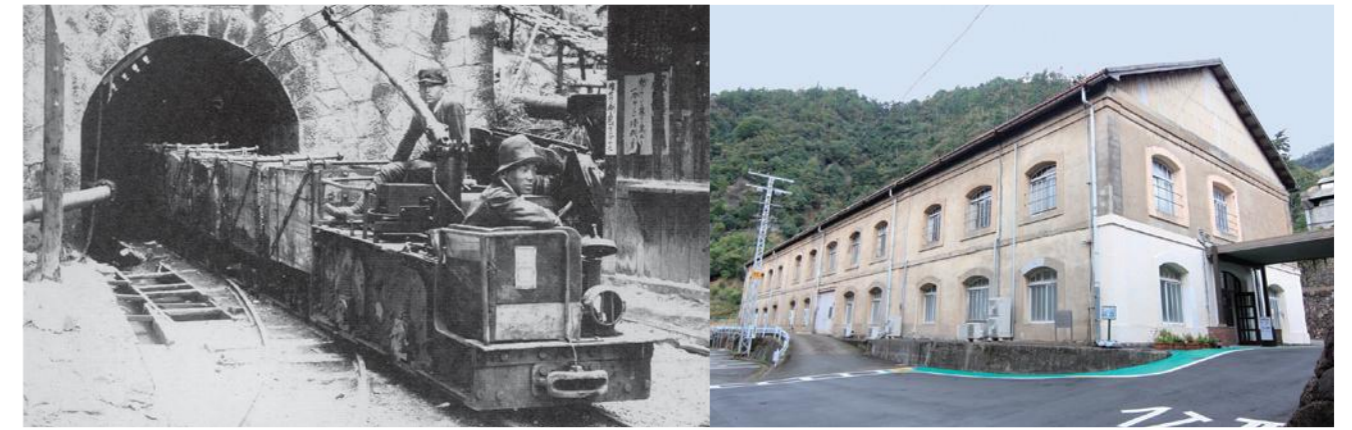
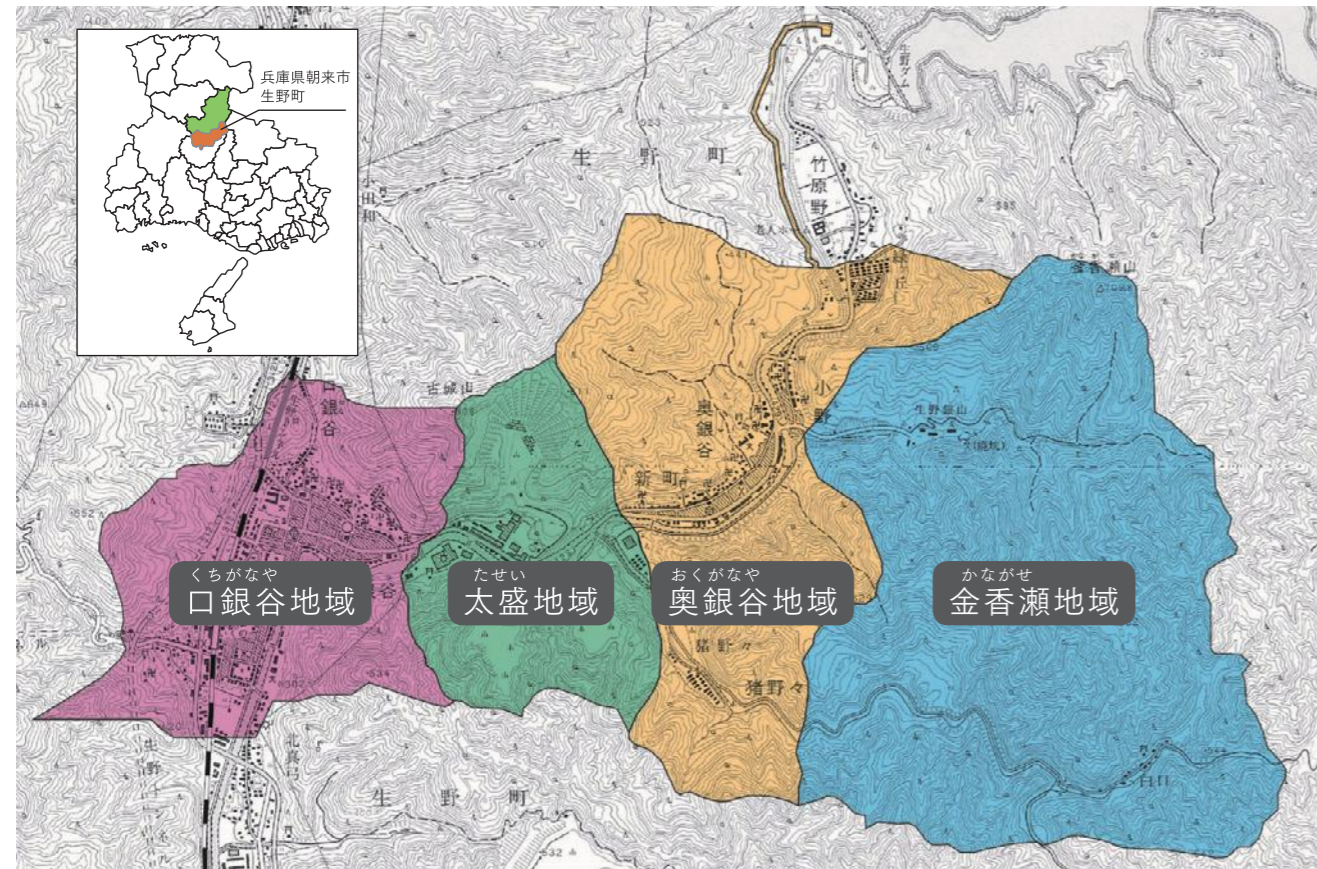
奥銀谷地域 奥銀谷地域を望む



金香瀨地域 「史跡 生野銀山」観光坑道



口銀谷地域 鍛冶屋町通り

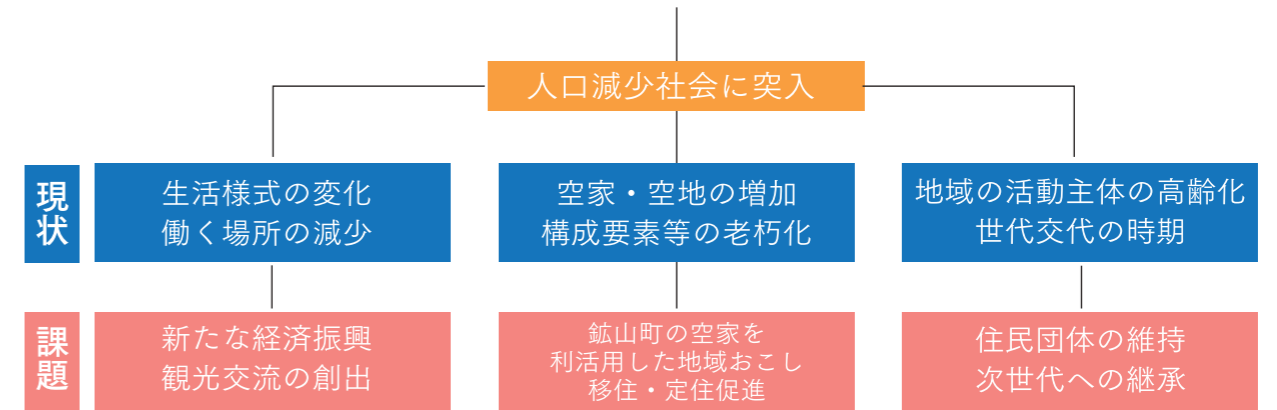


金香瀨坑口とトロッコ

生野鉱山本部 総合事務所

生野の文化的景観をとりまく現状と課題

生野鉱山 採掘終了から40年以上が経過



生野の文化的景観を継承するための基本方針



生野の文化的景観を継承するための基本理念

鉱山町の誇りと共に積み重ねられた地域の暮らしを受け継ぎ、  
鉱山町の景観と文化を確実に継承する。

## 鉱山町の記憶を支える「構成要素」と地域住民の関係

### 重要な構成要素の一例

生野には、重要文化的景観の構成要素が180件あり、当時の鉱工業の発展、鉱山町の暮らしや文化を「形」として今に伝えています。これら構成要素は、鉱山町の思い出や物語などの「記憶を示す」資産なのです。

このうち、「重要な構成要素」として位置づけられたものが68件あり、その一つひとつが生野の特徴、本質的価値を示すものとされています。また、地域の生活文化の中で守り伝えられた「一般的な構成要素」が112件あります。

鉱山町生野を次世代へ継承していくためには、記憶をつなぐ「地域住民」と、記憶を示す「構成要素」の両方を守ること、バランスを保つことが必要です。



甲社宅及び土塀、カラミ土塀 [市指定]



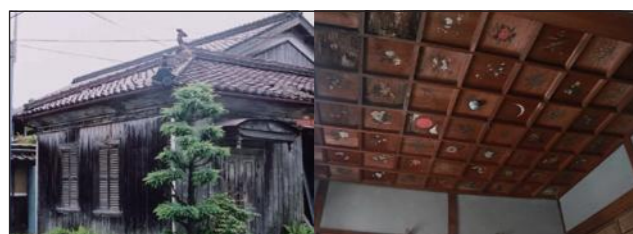
旧吉川家住宅（生野まちづくり工房井筒屋） [国登録]



松本家住宅 [国登録]



佐藤家住宅別邸 [国登録]



旧海崎医院 [国登録]



旧生野警察署（1区公民館） [市指定]



姫宮神社及び境内



日下旅館 [国登録]



金香瀬のヒカゲツツジ群落 [市指定]



延応寺の大ケヤキ [県指定]

### 生野町(家)

時代とともに受け継がれてきた生野の町の景観。

### 誇り(屋根)

中世から脈々と続いてきた鉱山町という歴史文化(記憶)。生野鉱山の採掘が終了して約40年が経過するも続く「鉱山町」という誇りとともに暮らしを次世代に受け継ぐ。

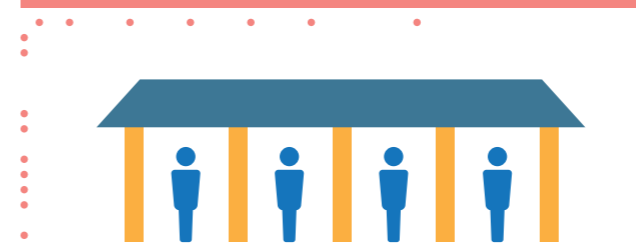
### 構成要素(柱)

鉱山と鉱山文化の姿をそのまま示し伝える、記憶の屋根を支える大小の柱。時間の経過とともに老朽化する。

### 地域住民

構成要素を持つ物語を人に話し伝えることができる。また柱を磨き、老朽化を抑えることができる。文化・風習を受け継ぐことができる。次世代にその役割を託す必要がある。

### 鉱山町という屋根を適切な数の柱と、地域住民で支える



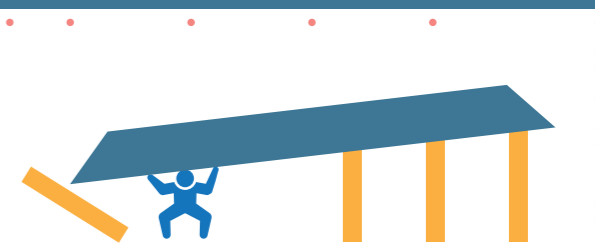
構成要素(柱)と地域住民が両立することで「鉱山町生野」は次世代へ受け継がれる。

### 地域住民がいなくなった家は朽ちていく



家(町)には地域住民が住み続けることが必要。人が住まなくなった家はすぐに朽ち始める。

### 柱がなくなれば屋根は落ちてしまう



老朽化が進む構成要素(柱)は適切に人の手を加えて守る必要がある。

### 構成要素(柱)の取捨選択が必要



地域住民の割合に比べ、守るべき構成要素(柱)が多いと生活の負担となりうる。



生野鉱山町とまち並みウォーク



生野ルートダルジャン芸術祭

所有者が構成要素(柱)を保護するためのルールと補助

構成要素(柱)の保護ルール ～柱の守り方・磨き方のルールづくり～

「構成要素」を変化させるときは、景観の変化を把握するため「届出」をお願いします。

重要文化的景観を守るためには、人が営みを続けることが必要です。営みの継続、時間の流れとともに景観は変化していきます。この変化は、止められるものではありません。

よって、変化を受け入れつつ、生野の文化的景観を守っていくために、まずは変化を細かく行政が把握する必要があります。そこで、構成要素を保護するため、下表のような変化が行われる場合は、朝来市教育委員会を通して文化庁長官へ「届出」の提出をお願いします。



購買会



旧浅田家住宅

重要文化的景観保護にかかる届出または報告が必要な行為

- ① 構成要素に位置付けられた建築物の改築・増築工事及び外観等の変更
- ② 構成要素に位置付けられた建築物以外の構造物及び記念物等の改変
- ③ 構成要素に位置付けられた鉱工業用地及び鉱山遺産活用地並びに街区の範囲における区画形質等の変更
- ④ 構成要素に位置付けられた鉄道・道路における幅員の大幅な拡幅等
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか、重要文化的景観保護に影響を及ぼすおそれのある行為

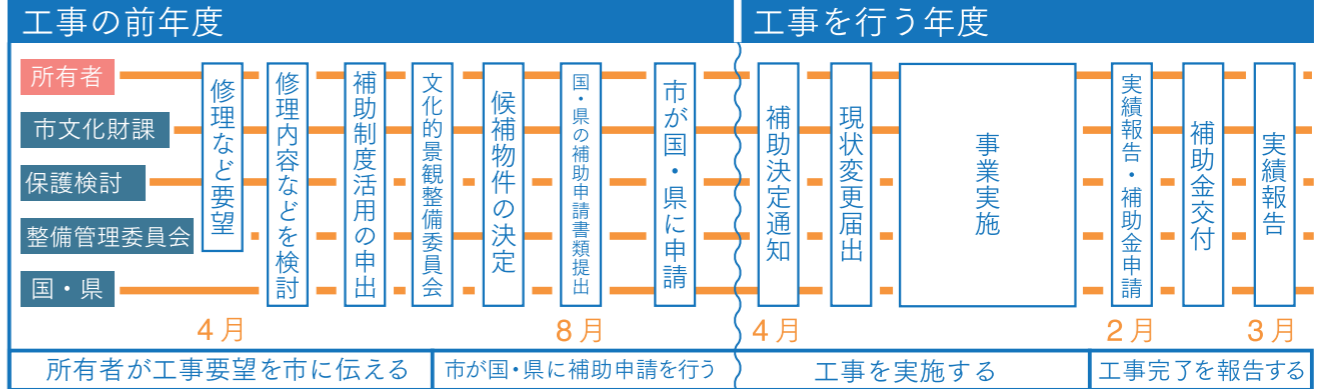
※重要な構成要素を変更する場合は「届出」。一般的な構成要素を変更する場合は「報告」をお願いします。

資金面での補助 重要な構成要素(柱)などを修理・修景する場合

補助金分類	補助対象行為および補助率・補助限度額		
重要な構成要素	歴史的鉱山を構成する性質や鉱山町の機能を継承する資産における外的保存		
	補助率	8/10 以内	補助限度額 800 万円
一般的な構成要素	景観形成補助金（景観形成審査会の認定を受けた修景行為）		
	補助率	2/3 以内	補助限度額 200 万円

朝来市では国・県・市の指定・登録文化財はそれぞれ別の補助制度があるため、より価値の高い重要な構成要素については、指定文化財・登録文化財などへの申請も検討します。

所有者の申請から補助交付額の決定、工事完了の報告まで



その他、個人や団体が文化的景観の保護活動をおこなう場合の支援・補助金など

支援・補助内容	支援・補助対象など			
朝来市にぎわい創出事業 (H23～H33年度まで)	補助率	1/2	補助限度額	改修60万円 家賃5万円/月 購入120万円
古民家再生促進支援事業	補助率	建物調査・再生提案	全額	補助限度額 調査のみ:全額県負担 古民家:250万円、666万円 歴史建造物:500万円、133万円
		改修工事	2/3	
兵庫県民まちなみ緑化事業 (H23～H33年度まで)	補助率	事業者が住民団体	全額	400万円
		事業者が個人・法人	1/2	250万円
広域連携	神子畑選鉱場跡・竹田城跡など生野鉱山と関わりが指摘される文化財などを一体的に包括し、活用・PRなど 日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」による関連市町村との広域観光などによる連携			



古民家を改装したカフェ



「シスレーのバラ」の植栽



## 地域の営みを次の世代へ引き継いでいくために

生野地域では、「鉱山とともに歩んできた町」として育まれた鉱山文化を受け継ぎながら生野に住み続けるために、これまで様々な取組みが積み重ねられてきました。

地域住民が計画段階からアイデアを出し作り上げた「生野まちづくり工房 井筒屋」、鉱山社宅を活用した「旧生野鉱山職員宿舎」など、住民主体のまちづくりを続けています。

口銀谷の町並みを活かして昭和の鉱山町を再現した「銀谷祭り」や、採掘を行っていた当時の鉱夫たちに思いを馳せる「へいくろう祭り」、鉱山町の町並みを利用した「銀谷のひな祭り」などの地域活性化イベント活動の実施や、「生野踊り・生野昔踊り」、「生野秋祭り」といった生野独特の文化、伝統行事の継承などにも積極的に取り組んできました。

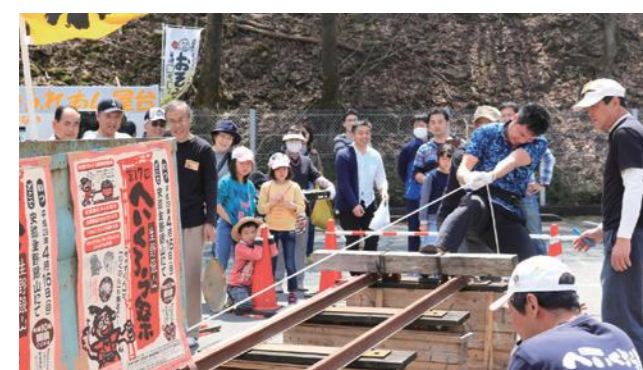
地域住民の鉱山町への誇り、生野に住み続けたい、次世代へ繋ぎたいという想いのもとに、今後も官民が一体となって継続していきましょう。



教育委員会・大学と連携した住民主体の古文書調査



情報誌などの発行



住民団体による文化的景観・伝統文化を活用したまちづくり活動（左：へいくろう祭り 右：銀谷祭り）



住民団体による鉱山町ならではの食文化の開発・普及（左：生野紅茶 コミュニティ 右：生野ハヤシライス）



①	②
③	④
⑤	⑥ ⑦

- ① 豪雪 雪かきの風景
- ② 鍛冶屋町通り
- ③ 旧海崎医院（大正の頃）
- ④ 市川と水管橋
- ⑤ 山神祭り
- ⑥ 日下旅館（大正の頃）
- ⑦ 生野秋祭り

文化的景観を受け継ぐことは、地域を受け継ぐことであるといえます。地域で営まれてきた暮らしの積み重ねを実感し、現在の暮らしの中で、受け継ぎ方を考え、最善と思える形で次世代へと繋ぐこと。

生野という地域を、より良い形で繋ぐための取組みが、「生野鉱山と鉱山町の文化的景観」を継承するということです。

営みを続けていけば、必ず生活や景観は変わっていきます。現在の景観をそのまま残していくことはできません。時代とともに変化していく中で、変わることのない生野の鉱山町の誇りを、まずは10年、引き継いでいきましょう。



### 【重要文化的景観 選定告示】

[名 称] 生野鉱山及び鉱山町の文化的景観

[選定年月日] 平成 26 年 3 月 18 日

[選 定 基 準]

(6) 鉱山・採石場・工場群などの採掘・製造に関する景観地

(7) 道・広場などの流通・往来に関する景勝地

[選定説明文]

鉱山開発及びそれに伴う都市発展によって形成された文化的景観であり、現役の鉱業都市として生産活動及び山神祭等の習俗を継承しつつ、トロッコ道跡やカラミ石の石積みなど鉱業都市に独自の土地利用の在り方を示す。

[選 定 面 積] 963.4 ha

### 重要文化的景観 生野鉱山及び鉱山町の文化的景観ガイドブック

発行日：平成 29 年 12 月 28 日

発 行：朝来市教育委員会

編 集：朝来市教育委員会文化財課

〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷 213 番地 1

[TEL] 079-672-4937 [mail] bunkazai@city.asago.lg.jp

[FAX] 079-672-4934 [朝来市ホームページ] <http://www.city.asago.hyogo.jp>

「重要文化的景観 生野鉱山及び鉱山町の文化的景観 整備計画」は、10 年を目安に改訂していきます。

●写真上「生野瓦の屋根」 ●写真下「カラミ石」 ●表紙写真「姫宮橋から市川を望む」

